

活動組織アンケート分析結果について(案)

(多様な主体の参画に係る影響の補足分析)

平成 3 0 年 3 月 1 2 日

農 林 水 産 省

目 次

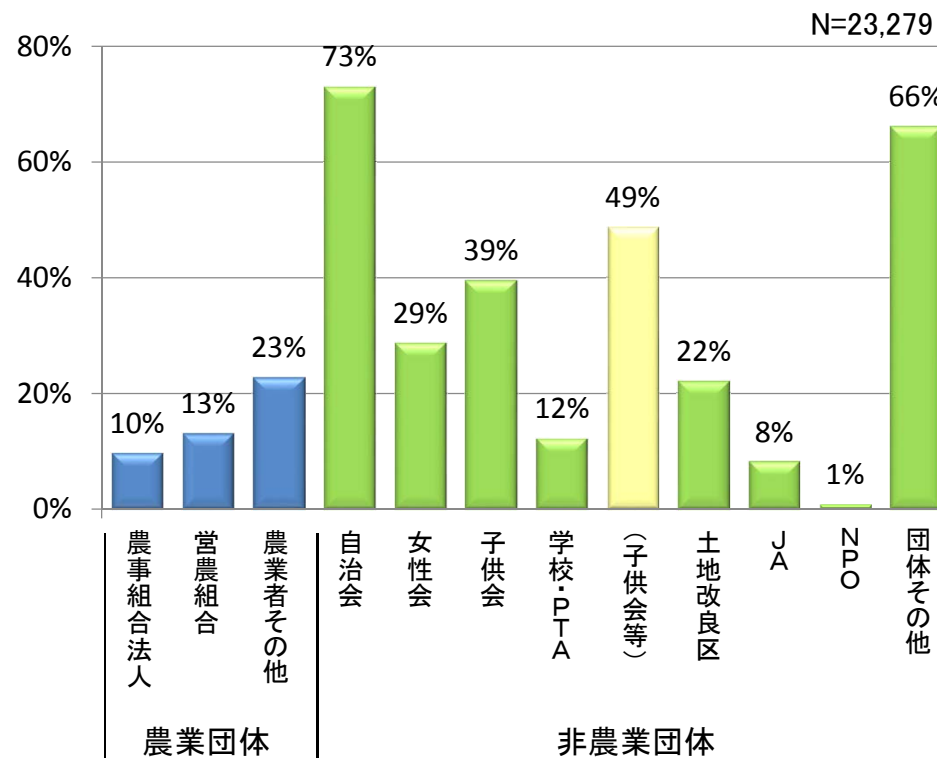
1 多面的機能支払交付金の活動に係る多様な主体の参画状況		1
2 平成27年度活動組織アンケートの補足分析		
(1) 年齢構成別、男女別、農業者・非農業者別の参加割合		3
(2) 活動組織設立前後の活動への参加者数の変化		4
(3) 農村地域の活性化に関する効果		5
3 農地・水・環境保全向上対策からの多様な主体の参画割合の推移		6

1 多面的機能支払交付金の活動に係る多様な主体の参画状況

- 全国の活動組織には、地域資源の保全管理のため、農業者160万人、非農業者52万人のほか、農業団体2万団体及び非農業団体12万団体という多様な主体が参画し、地域ぐるみの共同活動を実施している。
- 資源向上支払(共同活動)については、農業者及び農業者団体以外に非農業者や自治会、女性会、子供会等の非農業者団体の参画を要件としており、多様な主体が構成員として参加するほど活動の取組数が増加している。

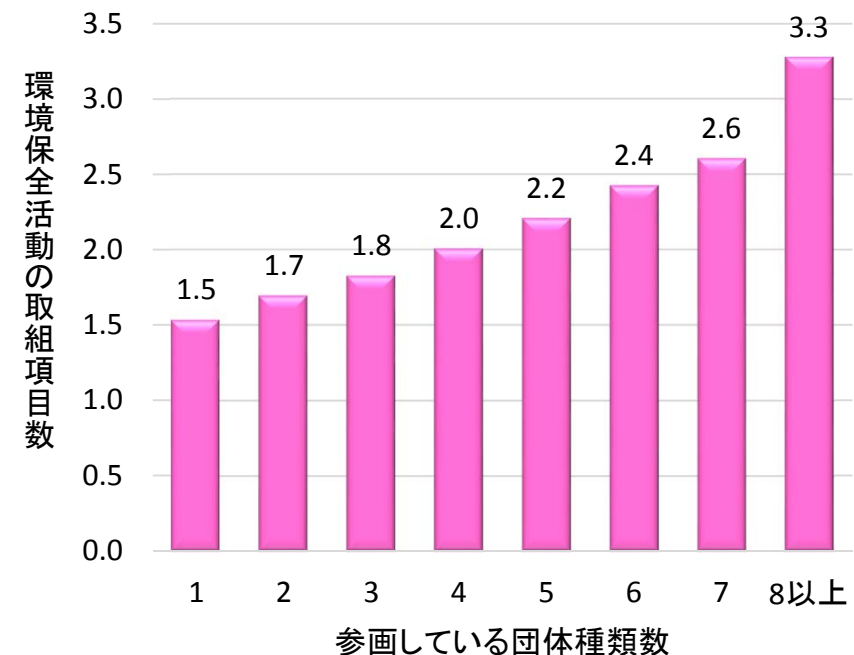
多様な主体の参画状況

平成28年度資源向上支払(共同活動)



「子供会等」は、「子供会」及び「学校・PTA」が参画する活動組織のうち、重複を除く活動組織の割合を指す。

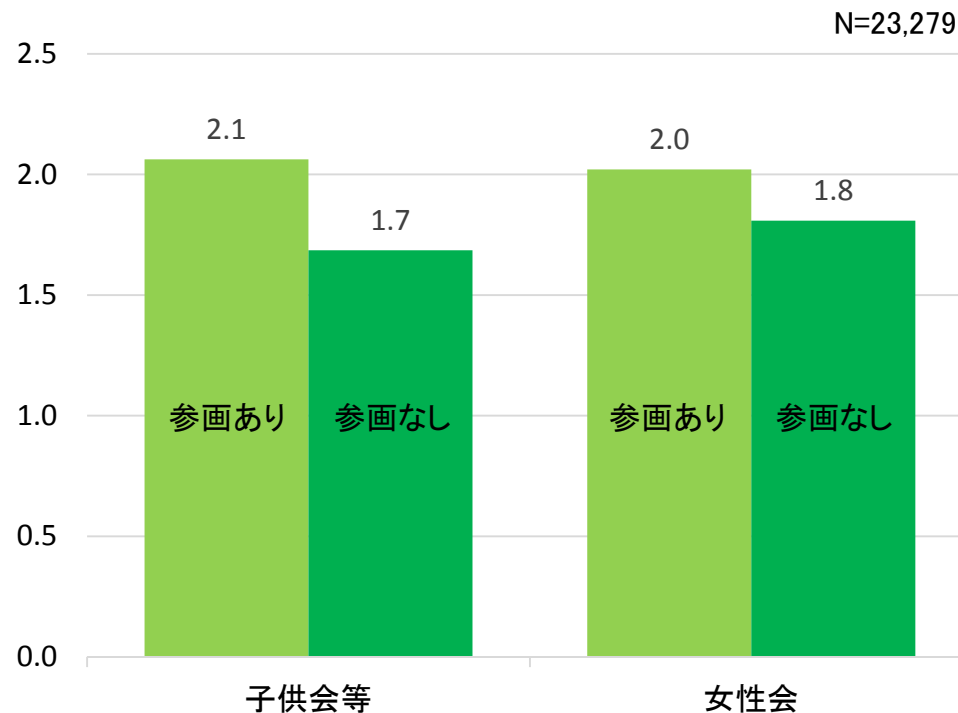
参画団体種類数と環境保全活動の取組項目数



1 多面的機能支払交付金の活動に係る多様な主体の参画状況

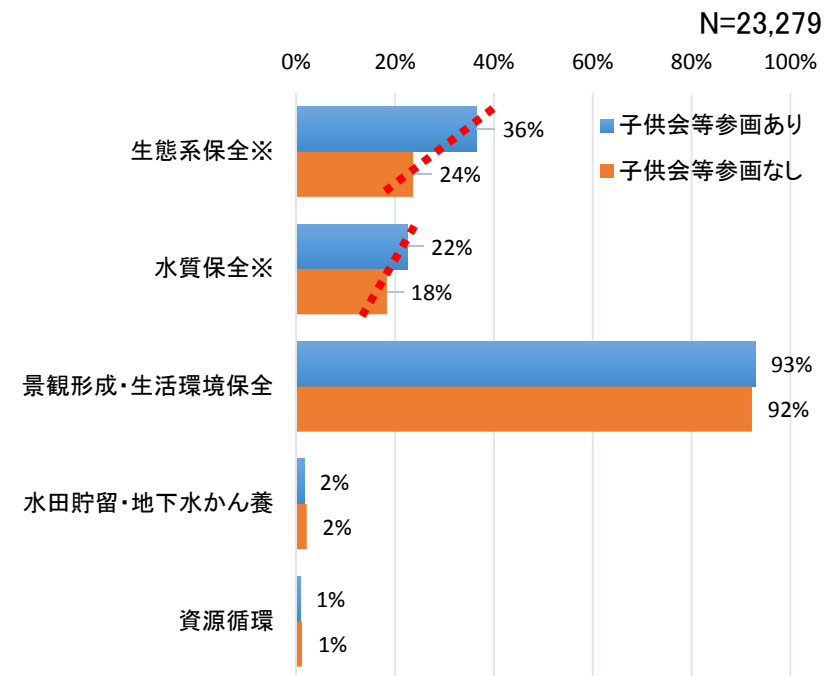
- 「農村環境の保全のための活動」における平均取組項目数を、子供会等及び女性会の参画の有無別に見ると、いずれも「参画あり」の活動組織は「参画なし」の活動組織に比べて平均取組項目数が多い。
- 農村環境保全活動の状況を見ると、子供会等の参画の有無にかかわらず「景観形成・生活環境保全」に取り組む組織が最も多いが、子供会等が参画している組織では、参画していない組織と比べて「生態系保全」、「水質保全」に関する活動を行っている組織割合が高い。

環境保全活動の平均取組項目数



※子供会等及び女性会の参画の有無による環境保全活動の平均活動項目数の差について、平均値の差の検定を用いて検定した結果、有意差が認められた。

農村環境保全活動の状況



※子供会等の参画の有無による農村環境保全活動の取組割合の差について、独立性の検定を用いて検定した結果、「生態系保全」及び「水質保全」については、有意差が認められた。

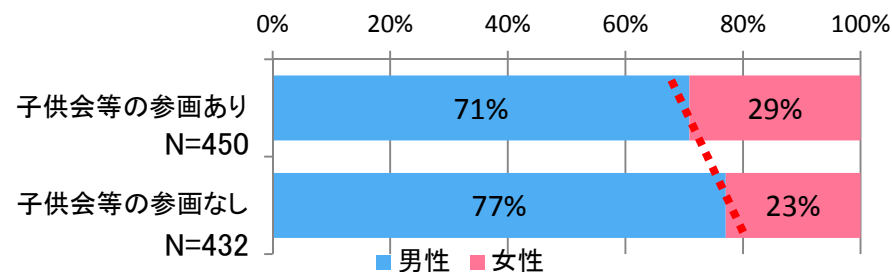
2 平成27年度活動組織アンケートの補足分析

(1) 年齢構成別、男女別、農業者・非農業者別の構成

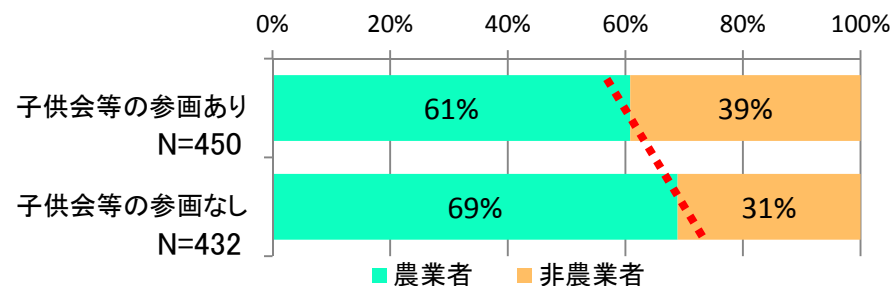
○ 資源向上支払(共同活動)の活動への参加者を見ると、子供会等が参画している組織では参画していない組織と比べて、女性及び非農業者の参加割合が高い。

○ 女性の参加が多い組織では、参加が少ない組織と比べて、中学生以下及び非農業者の参加割合が高い。

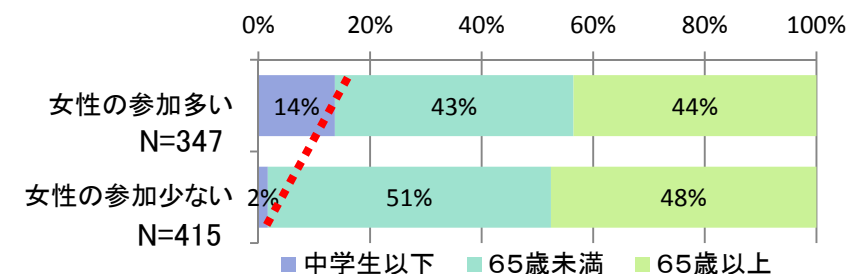
資源向上支払(共同活動)の活動への参加構成割合



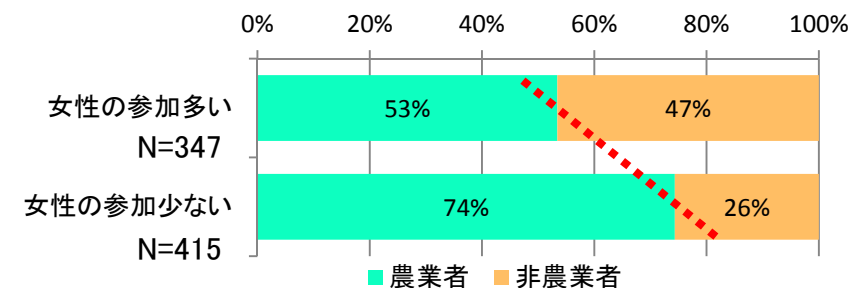
※子供会等の参画の有無による活動参加者割合(男女別)について、平均値の差の検定を用いて検定した結果、有意差が認められた。



※子供会等の参画の有無による活動参加者割合(農業者・非農業者別)について、平均値の差の検定を用いて検定した結果、有意差が認められた。



※女性参加割合の多寡による活動参加者割合(男女別)について、平均値の差の検定を用いて検定した結果、有意差が認められた。



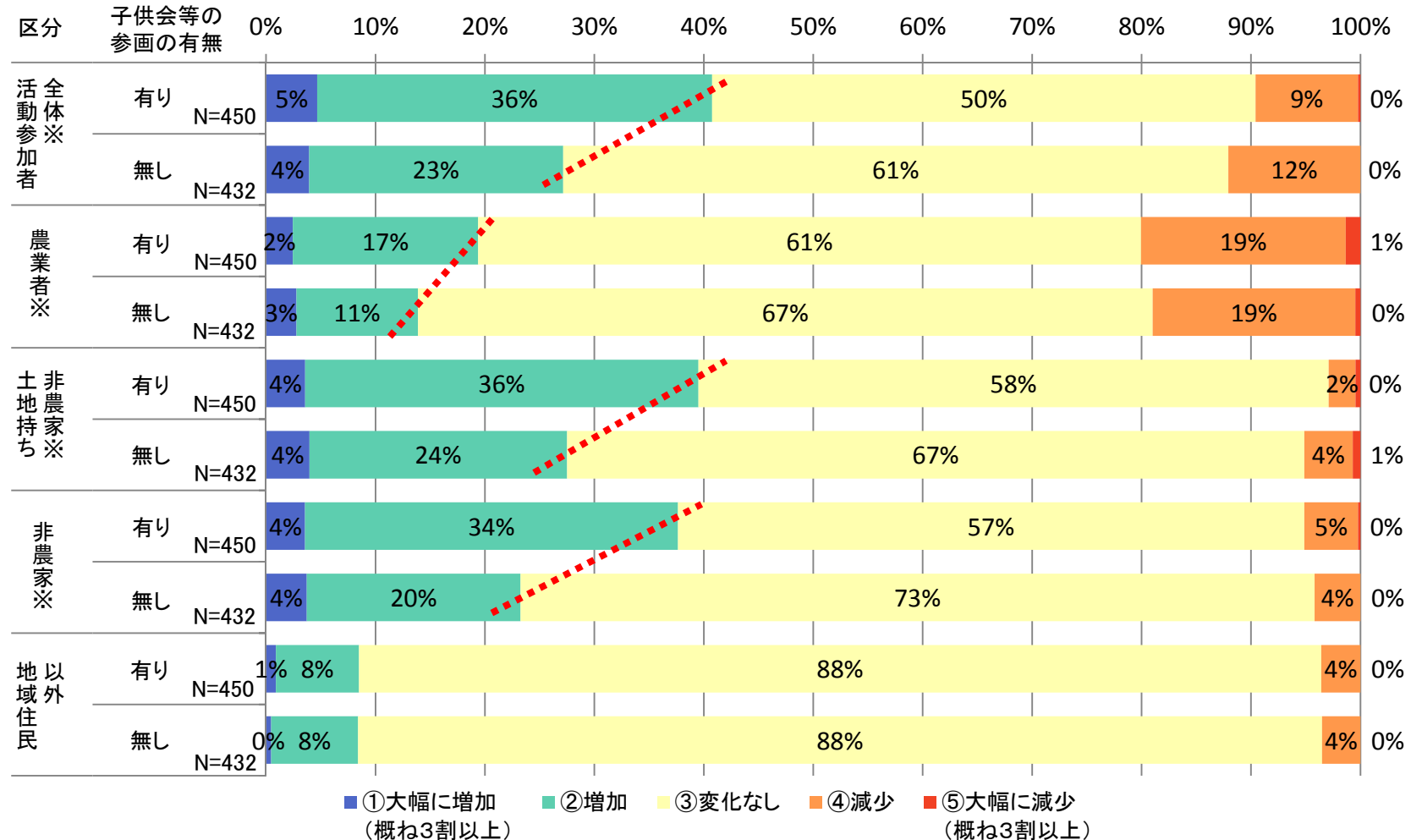
※女性参加割合の多寡による活動参加者割合(農業者・非農業者別)について、平均値の差の検定を用いて検定した結果、有意差が認められた。

「女性の参加が多い」とは、女性の活動への参加割合が3割以上の活動組織を指す。

2 平成27年度活動組織アンケートの補足分析

(2) 活動組織設立前後の活動への参加者数の変化

○ 活動組織設立前後の活動参加者数の変化を見ると、子供会等が参画している組織は参画していない組織と比べて、いずれの区分でも活動参加者が増加している割合が高い。



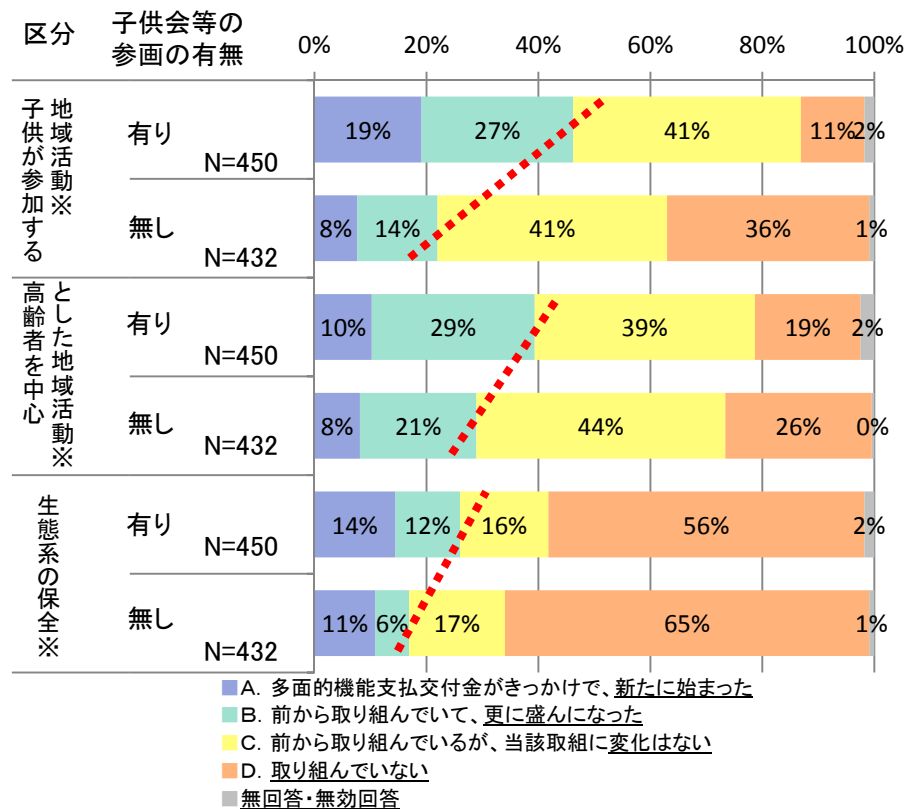
※子供会等の参画の有無による活動組織設立前後の活動参加者数の変化について、独立性の検定を用いて検定した結果、活動参加者全体、農業者、土地持ち非農家及び非農家については、有意差が認められた。

2 平成27年度活動組織アンケートの補足分析

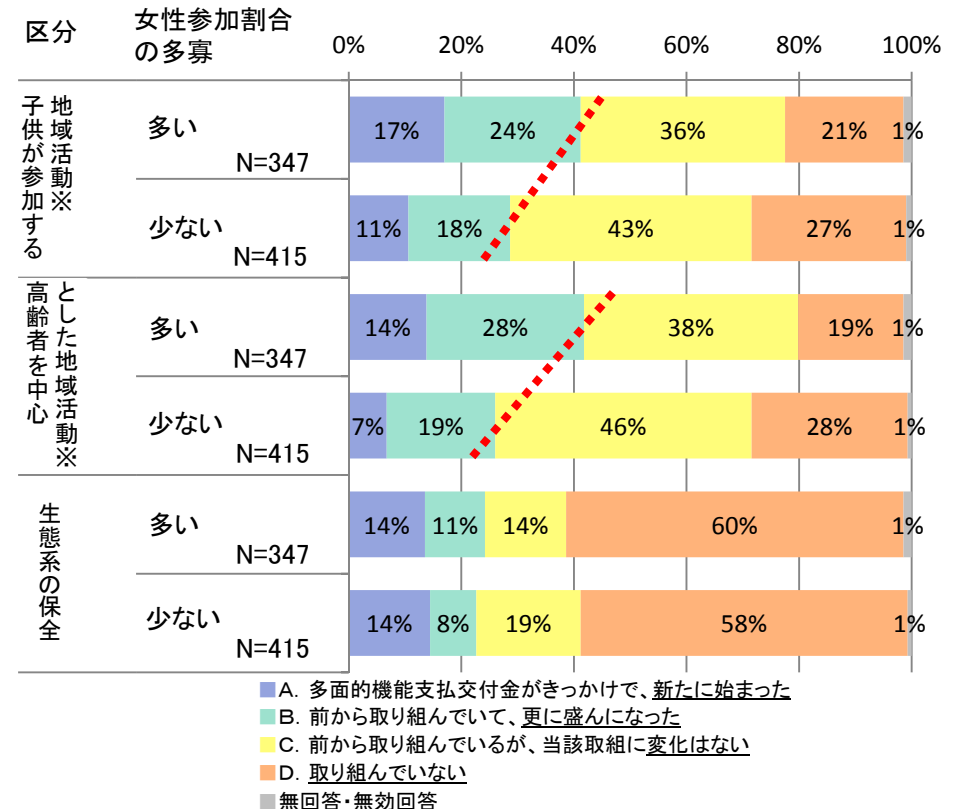
(3) 農村地域の活性化に関する効果

- 本交付金がきっかけで「新たに始まった、あるいは盛んになった活動」について、子供会等が参画している組織と参画していない組織を比較したところ、「子供が参加する地域活動」、「高齢者を中心とした地域活動」及び「生態系の保全」について、子供会等が参画している組織の方が、活動が活発になったと回答している割合が高い。
- 女性の参加状況で比較したところ、「子供が参加する地域活動」及び「高齢者を中心とした地域活動」について、女性の参加が多い組織の方が、活動が活発になったと回答している割合が高い。

農村地域の活性化に関する効果の割合



※子供会等の参画の有無による農村活性化に関する効果発現状況の差について、独立性の検定を用いて検定した結果、有意差が認められた。

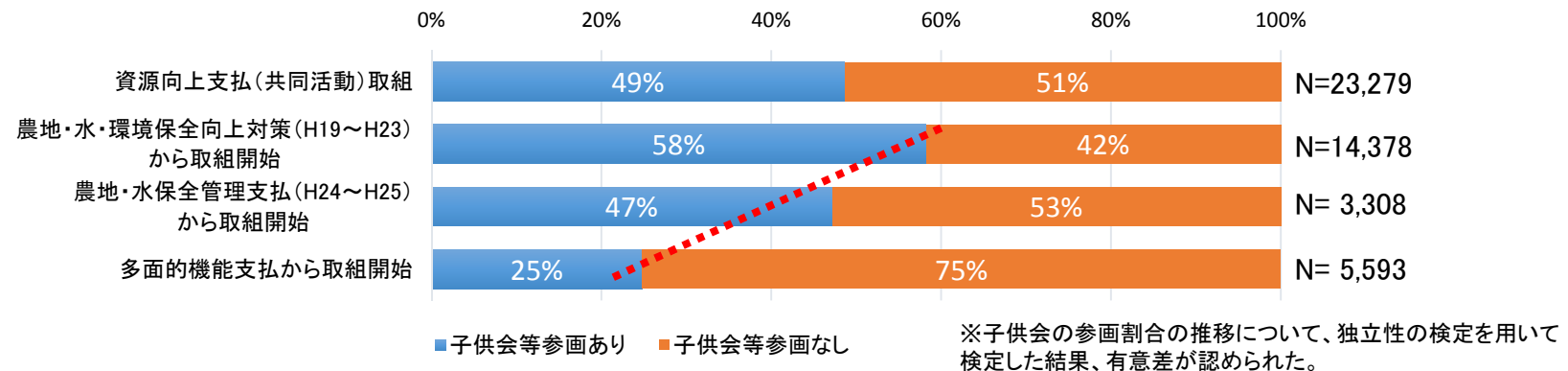


※女性参加割合の多寡による農村活性化に関する効果発現状況の差について、独立性の検定を用いて検定した結果、有意差が認められた。(生態系の保全を除く)

3 農地・水・環境保全向上対策からの多様な主体の参画割合の推移

- 子供会等が参画している組織の割合は、平成19年度の農地・水・環境保全向上対策から取組を開始した活動組織では58%であったが、平成24年度の農地・水保全管理支払から取組を開始した活動組織では47%、平成26年度の多面的機能支払から取組を開始した活動組織では25%と、参画割合が低下する傾向が見られる。
- 同様に、女性会が参画している組織割合についても、農地・水・環境保全向上対策から取組を開始した活動組織では35%であったが、農地・水保全管理支払から取組を開始した活動組織では27%、多面的機能支払から取組を開始した活動組織では15%と、参画割合が低下する傾向が見られる。

子供会等の参画割合の推移



女性会の参画割合の推移

